

| | | | | | | | | |
|------------------|--|------|-----------------|------------------|-------------------------------|----------|-----|----|
| 授業科目 | * 応用栄養学Ⅱ (B クラス) | | | | 単位 | 2 | | |
| 履 修 | 必修 | 関連資格 | 栄養士 管理栄養士 栄教一種免 | | ナンバリング | NT21602J | | |
| 開講年次 | 3 年 | 開講時期 | 前期 | 該当DP | DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP5-1 | | | |
| 担当教員 | 天本 理恵 | | | | | | | |
| 授業概要 | <p>応用栄養学Ⅰに続き、ライフステージ別の生理的特徴、栄養管理等について解説する。</p> <p>乳児期、幼児期、学童期、思春期における心身の成長と発達のはめざましく、この時期の栄養ケアは成長に重点をおいたものとなる。成人期は、身体的にも、社会的にも、最も充実した時期で、かつ加齢によって身体の形態的・機能的変化や精神・心理的变化など老化が進行する時期でもある。成人期の多忙な日常生活による不規則な生活習慣、運動不足、ストレスなどは、いわゆる「生活習慣病」をひきおこしている。また、高齢期における栄養ケアの必要性は、超高齢社会にある現代社会において重要視されている。本講義は乳児期から高齢期のライフステージにおける、身体的および精神的変化、環境の影響、ならびに、それに対する食事摂取基準の活用を含んだ栄養ケアマネジメント(栄養管理)について概説する。</p> | | | | | | | |
| 学生が達成すべき行動目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 乳児期の栄養ケア、幼児期・学童期・思春期における心身の発達、食生活の特性や疾患および各ライフステージ別の食事摂取基準を理解し、それぞれに適した栄養管理について説明できる(DP1-2、DP2-1、DP3-1、DP4-1、DP5-1)。 2. 乳幼児の栄養管理において、「授乳・離乳支援ガイド」を理解し、離乳の支援について説明できる(DP1-2、DP2-1、DP3-1、DP4-1)。 3. 成人の形態的・機能的な特徴ならびに、生活習慣病の概要およびそれらの栄養の改善による予防について説明できる(DP1-2、DP2-1、DP3-1、DP4-1)。 4. 成人期の食事摂取基準について説明できる(DP1-2、DP2-1)。 5. 更年期女性のホルモン動態、エストロゲン低下による身体への影響、栄養管理を説明できる(DP1-2、DP2-1、DP3-1、DP4-1)。 6. 高齢期における加齢および老化の理論、身体・精神的特徴、疾患、食事摂取基準、栄養管理等を説明できる(DP1-2、DP2-1、DP3-1、DP4-1)。 | | | | | | | |
| 達成度評価 | | | | | | | | |
| 評価と評価割合／ 評価方法 | 試験 | 小テスト | レポート | 発表(口頭、プレゼンテーション) | レポート外の提出物 | その他 | 合計 | 備考 |
| 総合評価割合 | 90 | 5 | 0 | 0 | 5(5回目視聴覚教材を視聴しての学び、感想) | 0 | 100 | |
| 知識・理解 (DP1-1) | | | | | | | | |
| 知識・理解 (DP1-2) | 60 | | | | | | 60 | |
| 知識・理解 (DP1-3) | | | | | | | | |
| 知識・理解 (DP1-4) | | | | | | | | |
| 思考・判断 (DP2-1) | 20 | | | | | | 20 | |
| 思考・判断 (DP2-2) | | | | | | | | |
| 関心・意欲 (DP3-1) | 10 | | | | | | 10 | |
| 関心・意欲 (DP3-2) | | | | | | | | |
| 態度 (DP4-1) | | 5 | | | | | 5 | |
| 態度 (DP4-2) | | | | | | | | |
| 態度 (DP4-3) | | | | | | | | |
| 技能・表現 (DP5-1) | | | | | 5 | | 5 | |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---------------------------------------|---|--|--|--|
| 技能・表現 (DP5-2) | | | | | | | | |
| 技能・表現 (DP5-3) | | | | | | | | |
| 具体的な達成の目安 | | | | | | | | |
| 理想的レベル | | | | | 標準的なレベル | | | |
| <p>1. 乳児期の栄養ケア、幼児期・学童期・思春期における心身の発達、食生活の特性や疾患を理解し、それぞれに適した栄養管理について説明できる。さらに各ライフステージの食事摂取基準を活用した栄養管理ができる。</p> <p>2. 乳幼児の栄養管理において、「授乳・離乳支援ガイド」を理解し、対象者への離乳の支援に活用することができる。</p> <p>3. 成人の形態的・機能的な特徴ならびに、生活習慣病の概要およびそれらの栄養の改善による予防について説明でき、さらには食事摂取基準を活用して適切な栄養管理計画ができる。</p> <p>4. 更年期女性のホルモン動態、</p> | | | | | <p>1. 乳児期の栄養ケア、幼児期・学童期・思春期における心身の発達、食生活の特性や疾患を理解し、それぞれに適した栄養管理について説明できる。さらに各ライフステージの食事摂取基準を説明できる。</p> <p>2. 乳幼児の栄養管理において、「授乳・離乳支援ガイド」を理解し、離乳の支援について説明することができる。</p> <p>3. 成人の形態的・機能的な特徴ならびに、生活習慣病の概要およびそれらの栄養の改善による予防について説明でき、食事摂取基準の活用ができる。</p> <p>4. 更年期女性のホルモン動態、エストロゲン低下による身体への影響を説明でき、栄</p> | | | |
| 授業計画 | | | | | | | | |
| 進行 | テーマ・講義内容 | 授業の運営方法 | 学習課題(予習・復習) | 予習・復習時間(分) | | | | |
| 1 | <p>新生児・乳児期の栄養(3)</p> <p>応用栄養学1からの続き 乳児期の栄養アセスメント、離乳食(授乳・離乳支援ガイド)、人工乳、食事摂取基準等について解説する。</p> | <p>講義</p> <p>小テスト</p> | <p>予習:テーマに関して、教科書を読み講義に臨む。</p> <p>復習:配布したスライド資料、教科書の見直しを行い、ポイントはノートにまとめるか、配布資料に書き込み、次回の講義につなぐようにする。</p> | <p>予習</p> <p>15~30分</p> <p>復習 30分</p> | | | | |
| 2 | <p>幼児期の栄養(1)</p> <p>幼児期の生理的変化、特性等について解説する。</p> | <p>講義</p> <p>小テスト</p> | <p>予習:テーマに関して、教科書を読み講義に臨む。</p> <p>復習:配布したスライド資料、教科書の見直しを行い、ポイントはノートにまとめるか、配布資料に書き込み、次回の講義につなぐようにする。</p> | <p>予習</p> <p>15~30分</p> <p>復習 30分</p> | | | | |
| 3 | <p>幼児期の栄養(2)</p> <p>幼児期の栄養アセスメント、食事摂取基準、保育所給食等について解説する。</p> | <p>講義</p> <p>小テスト</p> | <p>予習:テーマに関して、教科書を読み講義に臨む。</p> <p>復習:配布したスライド資料、教科書の見直しを行い、ポイントはノートにまとめるか、配布資料に書き込み、次回の講義につなぐようにする。</p> | <p>予習</p> <p>15~30分</p> <p>復習 30分</p> | | | | |
| 4 | <p>学童期の栄養(1)</p> <p>学童期の特性について解説する。</p> | <p>講義</p> <p>小テスト</p> | <p>予習:テーマに関して、教科書を読み講義に臨む。</p> <p>復習:配布したスライド資料、教科書の見直しを行い、ポイントはノートにまとめるか、配布資料に書き込み、次回の講義につなぐようにする。</p> | <p>予習</p> <p>15~30分</p> <p>復習 30分</p> | | | | |
| 5 | <p>学童期の栄養(2)</p> <p>学童期の栄養アセスメント、食事摂取基準について解説する。さらに、現在の学童期の食の現状についてのDVDの視聴を行う。</p> | <p>講義</p> <p>学童期の子供たちの食の現状の視聴覚教材を見てのコメント記入(小レポート)</p> | <p>予習:テーマに関して、教科書を読み講義に臨む。</p> <p>復習:配布したスライド資料、教科書の見直しを行い、ポイントはノートにまとめるか、配布資料に書き込み、次回の講</p> | <p>予習</p> <p>15~30分</p> <p>復習 30分</p> | | | | |

| | | | | |
|----|--|------------|--|------------------------|
| | | | 義につなぐようにする。 | |
| 6 | 学童期の栄養(3)思春期の栄養(1) 学校給食、思春期の特性について解説する。 | 講義 小テスト | 予習:テーマに関して、教科書を読み講義に臨む。 復習:配布したスライド資料、教科書の見直しを行い、ポイントはノートにまとめるか、配布資料に書き込み、次回の講義につなぐようにする。 | 予習 15~30分 復習 30分 |
| 7 | 思春期の栄養(2) 思春期の栄養アセスメント、食事摂取基準について解説する。 | 講義 小テスト | 予習:テーマに関して、教科書を読み講義に臨む。 復習:配布したスライド資料、教科書の見直しを行い、ポイントはノートにまとめるか、配布資料に書き込み、次回の講義につなぐようにする。 | 予習 15~30分 復習 30分 |
| 8 | 成人期の栄養 (1) 成人期の特性、成人期の食の現状、食事摂取基準について解説する。 | 講義 小テスト | 予習:テーマに関して、教科書を読み講義に臨む。 復習:配布したスライド資料、教科書の見直しを行い、ポイントはノートにまとめるか、配布資料に書き込み、次回の講義につなぐようにする。 | 予習 15~30分 復習 30分 |
| 9 | 成人期の栄養 (2) 生活習慣病と栄養について解説する。 成人期の栄養ケアマネジメントについて概説する。 | 講義 小テスト | 予習:テーマに関して、教科書を読み講義に臨む。 復習:配布したスライド資料、教科書の見直しを行い、ポイントはノートにまとめるか、配布資料に書き込み、次回の講義につなぐようにする。 | 予習 15~30分 復習 30分 |
| 10 | 成人期の栄養(3)更年期の栄養① 更年期のホルモン動態について、エストロゲン低下が更年期女性の体に及ぼす影響について解説する。 | 講義 小テスト | 予習:テーマに関して、教科書を読み講義に臨む。 復習:配布したスライド資料、教科書の見直しを行い、ポイントはノートにまとめるか、配布資料に書き込み、次回の講義につなぐようにする。 | 予習 15~30分 復習 30分 |
| 11 | 成人期の栄養(4)更年期の栄養② 更年期の栄養ケア、マネジメントについて解説する。 | 講義 小テスト | 予習:テーマに関して、教科書を読み講義に臨む。 復習:配布したスライド資料、教科書の見直しを行い、ポイントはノートにまとめるか、配布資料に書き込み、次回の講義につなぐようにする。 | 予習 15~30分 復習 30分 |
| 12 | 高齢期の栄養(1) 高齢期の身体・精神的特性、加齢等について解説する。 | 講義 小テスト | 予習:テーマに関して、教科書を読み講義に臨む。 復習:配布したスライド資料、教科書の見直しを行い、ポイントはノートにまとめるか、配布資料に書き込み、次回の講義につなぐようにする。 | 予習 15~30分 復習 30分 |
| 13 | 高齢期の栄養(2) 高齢期の栄養アセスメントについて概説する。 | 講義 小テスト | 予習:テーマに関して、教科書を読み講義に臨む。 復習:配布したスライド資料、教科書の見直しを行い、ポイ | 予習 15~30分 復習 30分 |

| | | | | |
|-----------------------|--|------------|--|-----------------------------|
| | | | ントはノートにまとめるか、配布資料に書き込み、次回の講義につなぐようにする。 | 分 |
| 14 | 高齢期の栄養(3) 高齢期の栄養マネジメント、食事摂取基準について解説する。 | 講義 小テスト | 予習:テーマに関して、教科書を読み講義に臨む。 復習:配布したスライド資料、教科書の見直しを行い、ポイントはノートにまとめるか、配布資料に書き込み、次回の講義につなぐようにする。 | 予習 15~30分 復習 30分 |
| 15 | 高齢期の栄養(4) 高齢期の栄養ケアマネジメント、疾患について解説する。 | 講義 | 予習:テーマに関して、教科書を読み講義に臨む。 復習:応用栄養学2にて配布した全スライド資料、教科書を復習し、試験に臨む。 | 予習 15~30分 復習 30分~120分 |
| 16 | | | | |
| 17 | | | | |
| 18 | | | | |
| 19 | | | | |
| 20 | | | | |
| 21 | | | | |
| 22 | | | | |
| 23 | | | | |
| 24 | | | | |
| 25 | | | | |
| 26 | | | | |
| 27 | | | | |
| 28 | | | | |
| 29 | | | | |
| 30 | | | | |
| 理解に必要な予備知識や技能 | ライフステージ別の栄養管理では、人体の構造と機能および疾病の成り立ちに該当する科目(特に解剖学・生理学、疾病診断治療学)の知識が必要になります。また、食事摂取基準 2015年版を学ぶ上で、基礎栄養学の知識が必要になります。 | | | |
| テキスト | <ul style="list-style-type: none"> ・「イラスト 応用栄養学」田村 明 編 東京教学社 ・「厚生労働省策定 日本人の食事摂取基準 2015年版」第一出版 K.K 必要に応じて参考資料とパワーポイントの資料を配布する。 | | | |
| 参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介 | <ul style="list-style-type: none"> ・「栄養ケア・マネジメント 基礎と概念」木戸康博・小倉嘉夫・真鍋祐之編 医歯薬出版株式会社 ・「食事摂取基準 理論と活用」第2版 鈴木 公・木戸康博編 医歯薬出版株式会社 ・妊産婦のための食生活指針 厚生労働省 ・授乳・離乳支援ガイド 厚生労働省 | | | |

| | |
|----------------------|---|
| 授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ | 応用栄養学は栄養マネジメントへの理解を深め、さらに皆さんが歩んできたライフステージと、加齢とともにこれから歩いていくライフステージについて学び、それを生活習慣の改善や栄養指導に活かす教科です。日々の生活から多くのことを吸収して、この講義で学んだことと関連付け、栄養士・管理栄養士になるために必要な知識を身につけて欲しいと思います。授業以外の学習方法としては、まず教科書を読み予習してきてください。復習は、配布した講義スライドと教科書を見直すことを最低限行って下さい。 |
| 達成度評価に関するコメント | 試験、小テスト、小レポートの内容に関しては、講義の中で指示します。小レポートは、応用栄養学 I 同様、視聴覚教材を使用した時に学び得たことを書いてもらう予定です。 |